

## ㈱北越ノボックス 環境行動計画

### 取組方針

株式会社北越ノボックスは、当社の経営理念である『アミューズメント産業の将来性に果敢に挑戦する時代創造企業をめざして社会貢献を果たします』をモットーにアミューズメント産業向け総合商社として事業活動をしています。

当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動の中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減）
- ② 製造部門、事務部門における廃棄物の削減
- ③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成22年11月22日

株式会社北越ノボックス  
代表取締役 當山 隆則

### 3. 環境負荷削減目標及び具体的な取組項目

当社では、事業活動に伴う環境負荷を削減するため、取組目標及び具体的な取組項目を設定して取り組むこととします。設定した取組目標と具体的な取組項目は、以下のとおりです。

【目標1】 二酸化炭素の総排出量（売上高当たり）を、21年度を基準として23年度までに2%削減する。

#### 【具体的な取組】

##### （事務所での取組）

- ① 室内温度を適温に設定する。（冷房28度と暖房22度を目安にする。）
- ② 昼休みの消灯、人のいない場所の消灯を徹底する。
- ③ 張り紙による注意喚起。（「外出時必ず消灯！」等）
- ④ 温度計を設置し、空調機の設定温度を管理する。
- ⑤ 使用していない電気器具の主電源を切り、待機電力を削減する。
- ⑥ カーテン、ブラインドを利用して冷暖房の効果を高める。
- ⑦ エアコンの使用期間中は、毎月1回フィルターを清掃する。
- ⑧ 昼休みの消灯、パソコン・コピー機の電源OFFを徹底する。
- ⑨ 休日前には、パソコンのコンセントを抜いておく。

##### （車両での取組）

- ① エコドライブに取り組む。（停車時のアイドリングストップ、ふんわりアクセルに心がける）
- ② 車両の点検を定期的に行う。
- ③ 車で移動する際は、乗り合わせを徹底する。
- ④ 給油時タイヤの空気圧をチェックし燃費の向上に努める。

【目標2】 廃棄物の排出量を、21年度を基準として23年度までに2%削減する。

#### 【具体的な取組】

- ① 廃棄物は、決められたごみ箱に分別して出す。
- ② シュレッダーの使用は機密書類に限定する。
- ③ ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する。
- ⑤ 新しい製品カタログを受け取る際には、旧版を引き取ってもらう。
- ⑥ 再使用、リサイクルしやすい製品を優先的に購入する。
- ⑦ 詰め替え可能な製品を優先的に購入・使用する。
- ⑧ 紙のリサイクルに努める。
- ⑨ 排出する一般廃棄物の量を調べる。
- ⑩ ゴミの分別を徹底し、リサイクルに努める。

- ⑪ 製品をできるだけ長期間使用する。

【目標3】コピー用紙の使用量を、21年度を基準として23年度までに2%削減する。

【具体的な取組】

- ① 作成資料を印刷する際は、パソコン画面上での確認を励行する。
- ② スキャナーの有効活用。印刷できない設定にしてデータファイルをやり取りする。
- ③ 社内資料は、両面コピー、縮小コピー、裏面活用に努める。
- ④ 顧客情報等を含まない不要な文書、毀損したコピー用紙の裏面を再利用する。
- ⑤ コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定状況を確認しミスコピーの削減に努める。
- ⑥ 会議資料等の削減に努める。(資料のコンパクト化、必要最低部数のコピー)
- ⑦ コピーをする場合は、その必要性を十分吟味する。
- ⑧ 張り紙による注意喚起。(「限りある資源 紙を大切に！」等)

#### 4. 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画に基づき環境保全活動を効果的に実施するため、環境管理責任者を中心に組織的に取り組むとともに、その進捗状況を定期的にチェックします。